

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月10日

上場会社名 株式会社ヒガシマル
 コード番号 2058 URL <http://www.k-higashimaru.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 東 紘一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 上野 善博
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

上場取引所 福

TEL 099-273-3859

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	7,741	—	384	—	451	—	190	—
20年3月期第3四半期	6,672	7.0	353	9.0	420	0.5	243	△6.3

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	40.48	—	—	—
20年3月期第3四半期	51.81	—	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
21年3月期第3四半期	10,365	4,394	42.3	932.11				
20年3月期	8,659	4,466	51.6	949.19				

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 4,385百万円 20年3月期 4,466百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
21年3月期	—	0.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
通期	8,857	10.4	157	△25.5	165	△51.1	△41	—	△8.72	

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 新規 一社(社名) 除外 一社(社名)
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 (注) 詳細は4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無
 (注) 詳細は4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 4,746,000株 20年3月期 4,746,000株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 40,809株 20年3月期 40,000株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 4,705,448株 20年3月期第3四半期 4,706,000株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1 平成20年11月7日に公表いたしました通期の連結業績予想を本資料において修正しております。また、本資料に記載されている業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

2 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(参考) 平成21年3月期の個別業績予想 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,642	7.8	240	4.0	389	7.8	202	△9.7	43.06

(注) 個別業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成20年11月7日に公表いたしました通期の個別業績予想を本資料において修正しております。また、本資料に記載されている業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、サブプライムローン問題に端を発した金融危機は世界的な広がりを見せ、实体经济への影響が顕在化し始めるなか、景気は急速に減速してまいりました。米リーマン・ブラザーズの破綻を契機に信用不安が増大し、世界的な株価の暴落と急激な円高、これまで景気を支えた自動車や電気機械などが本格的減産に転じ、多額の評価損が表面化するなど企業業績は急激に悪化しております。

このような状況の下、当社グループは、安心・安全な商品を提供すべく、品質管理に細心の注意を払いつつ、経費比率の逡減に努めてまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は77億41百万円（前年同期比16.0%増）、営業利益は3億84百万円（前年同期比8.7%増）、経常利益は4億51百万円（前年同期比7.2%増）、四半期純利益は1億90百万円（前年同期比21.9%減）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

① 水産事業

クルマエビ飼料類は、沖縄方面では春先の低水温により稚エビ生産が遅れ気味でありましたが、池入れ後の稚エビに魚病被害等が少なかったため販売量は増加しました。ハマチ飼料類及びマダイ飼料類は、魚類市況は回復から下落に転じ、生餌価格の下落と水温低下による給餌減退の時期が幾分早まりましたが、給餌量全体に対する配合飼料の使用割合に大きな変化はなく、販売量は増加しました。

主原料の魚粉等は高値で推移、副原料及び資材等は値上がりし、燃料等については直近では急落しているものの秋口までの高騰が響き、原価率は上昇しました。

その結果、水産事業の売上高は66億18百万円（前年同期比15.3%増）、営業利益は5億10百万円（前年同期比3.6%減）となりました。

② 食品事業

即席麺類は、九州から首都圏に販路が徐々に拡大し、機械そうめん類は猛暑による消費増と大口の新規受注、その他皿うどん類も販売量が増加しました。また、小麦粉等の値上げに伴う価格改定を行ったことから売上高も増加しました。

その結果、食品事業の売上高は11億22百万円（前年同期比20.5%増）、営業利益は22百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末は、前連結会計年度末と比べ17億6百万円増加し103億65百万円となりました。

流動資産は、売上高の増加に伴う売上債権の増加、棚卸資産の増加、その他流動資産の減少などにより、前連結会計年度末と比べ15億2百万円増加し54億17百万円となりました。

固定資産は、当社の生産設備等の維持更新による取得と海外子会社の工場及び生産設備等の取得による有形固定資産の増加や海外子会社の土地使用権の計上などにより、前連結会計年度末と比べ2億3百万円増加し49億48百万円となりました。

負債は、生産高の増加に伴い仕入債務及び短期借入金の増加、未払法人税等、その他固定負債の増加などにより、前連結会計年度末と比べ17億78百万円増加し59億71百万円となりました。

純資産は、剰余金の増加、為替予約取引等に係る繰延ヘッジ損益の減少などにより、前連結会計年度末と比べ72百万円減少し43億94百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

世界的な経済の減速、信用収縮による株価暴落や急激な円高に伴い、自動車、電気機械の減産幅が拡大し、雇用調整や賃金の減少が消費を減退させ、株価暴落によって企業が被る財務面でのダメージも大きく、年度末に向けて景気はさらに減退するものと予想されます。原油をはじめとする資源価格は、昨夏をピークに急落に転じ、それに円高も加わって仕入原価は低減するものの、消費減退で販売量も逡減してコスト比率が高まり、企業業績は急激に悪化するものと予想されます。

当社グループの事業においては、第4四半期連結会計期間の売上高は、他の四半期連結会計期間に比べて小さくなる季節的特性があります。世界的な景気後退の影響で売上高及び営業利益の減少が見込まれ、第4四半期において大幅な円高ベトナムドン安によりベトナム連結子会社の外貨建借入金残高に係る為替差損の発生が見込まれますので、さらに安全性と品質を重視し、コスト逡減に傾注してまいります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

② 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、当第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,253,190	1,079,632
受取手形及び売掛金	2,558,426	1,312,818
商品	6,283	9,250
製品	429,173	320,208
原材料	828,798	750,430
仕掛品	44,292	53,901
その他	297,533	389,150
貸倒引当金	△695	△695
流動資産合計	5,417,002	3,914,696
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,188,163	1,062,321
機械装置及び運搬具(純額)	921,564	799,802
土地	1,746,746	1,746,746
その他(純額)	85,278	298,302
有形固定資産合計	3,941,752	3,907,173
無形固定資産		
投資その他の資産	117,545	17,802
その他	910,594	840,998
貸倒引当金	△21,104	△21,104
投資その他の資産合計	889,489	819,894
固定資産合計	4,948,788	4,744,869
資産合計	10,365,790	8,659,566
負債の部		
流動負債		
買掛金	905,118	443,903
短期借入金	3,256,766	2,435,447
未払法人税等	200,100	58,100
賞与引当金	33,909	57,996
その他	412,716	272,305
流動負債合計	4,808,610	3,267,752
固定負債		
長期借入金	150,954	149,616
役員退職慰労引当金	454,605	450,014
その他	557,157	325,291
固定負債合計	1,162,716	924,922
負債合計	5,971,326	4,192,674

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	603,900	603,900
資本剰余金	458,400	458,400
利益剰余金	3,694,175	3,541,325
自己株式	△28,917	△28,400
株主資本合計	4,727,557	4,575,225
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	19,608	28,473
繰延ヘッジ損益	△321,445	△118,016
為替換算調整勘定	△39,966	△18,791
評価・換算差額等合計	△341,803	△108,333
少数株主持分	8,709	—
純資産合計	4,394,464	4,466,891
負債純資産合計	10,365,790	8,659,566

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	7,741,641
売上原価	6,418,145
売上総利益	1,323,495
販売費及び一般管理費	
運賃諸掛	285,271
給料及び賞与	224,105
賞与引当金繰入額	13,345
役員退職慰労引当金繰入額	4,990
その他	411,585
販売費及び一般管理費合計	939,297
営業利益	384,198
営業外収益	
受取利息	2,576
受取配当金	2,809
為替差益	27,339
物品売却益	45,651
雑収入	18,556
営業外収益合計	96,932
営業外費用	
支払利息	29,603
雑損失	215
営業外費用合計	29,818
経常利益	451,312
特別利益	
固定資産売却益	19
持分変動利益	949
特別利益合計	968
特別損失	
固定資産除却損	869
投資有価証券評価損	1,480
退職給付制度終了損	15,234
特別損失合計	17,584
税金等調整前四半期純利益	434,696
法人税、住民税及び事業税	223,847
法人税等調整額	26,730
法人税等合計	250,578
少数株主損失(△)	△6,379
四半期純利益	190,497

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	水産事業 (千円)	食品事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高	6,618,938	1,122,702	7,741,641	—	7,741,641
営業利益	510,434	22,987	533,421	(149,222)	384,198

(注) 1 事業区分は、製造方法、市場及び販売方法の類似性を勘案して区分しております。

2 各事業の主な製品は次のとおりであります。

(1) 水産事業……クルマエビ飼料類、ハマチ飼料類、その他養殖用飼料類

(2) 食品事業……即席麺類、乾麺・つゆ類、その他麺類

【所在地別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)において、全セグメントの売上高の合計額に占める日本の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)において、海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前第3四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)
	金額(千円)
I 売上高	6,672,795
II 売上原価	5,415,634
売上総利益	1,257,161
III 販売費及び一般管理費	903,610
営業利益	353,550
IV 営業外収益	95,898
V 営業外費用	28,497
経常利益	420,952
VI 特別利益	126,591
VII 特別損失	33,184
税金等調整前四半期純利益	514,359
法人税、住民税及び事業税	68,790
法人税等調整額	201,770
四半期純利益	243,798

(2) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)

	水産事業 (千円)	食品事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社(千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	5,741,400	931,394	6,672,795	—	6,672,795
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,741,400	931,394	6,672,795	—	6,672,795
営業費用	5,211,653	947,919	6,159,572	159,671	6,319,244
営業利益又は営業損失(△)	529,747	△16,524	513,222	(159,671)	353,550

(注) 1 事業区分は、製造方法、市場及び販売方法の類似性を勘案して区分しております。

2 各事業の主な製品は次のとおりであります。

- (1) 水産事業……クルマエビ飼料類、ハマチ飼料類、その他養殖用飼料類
- (2) 食品事業……即席麺類、乾麺・つゆ類、その他麺類